

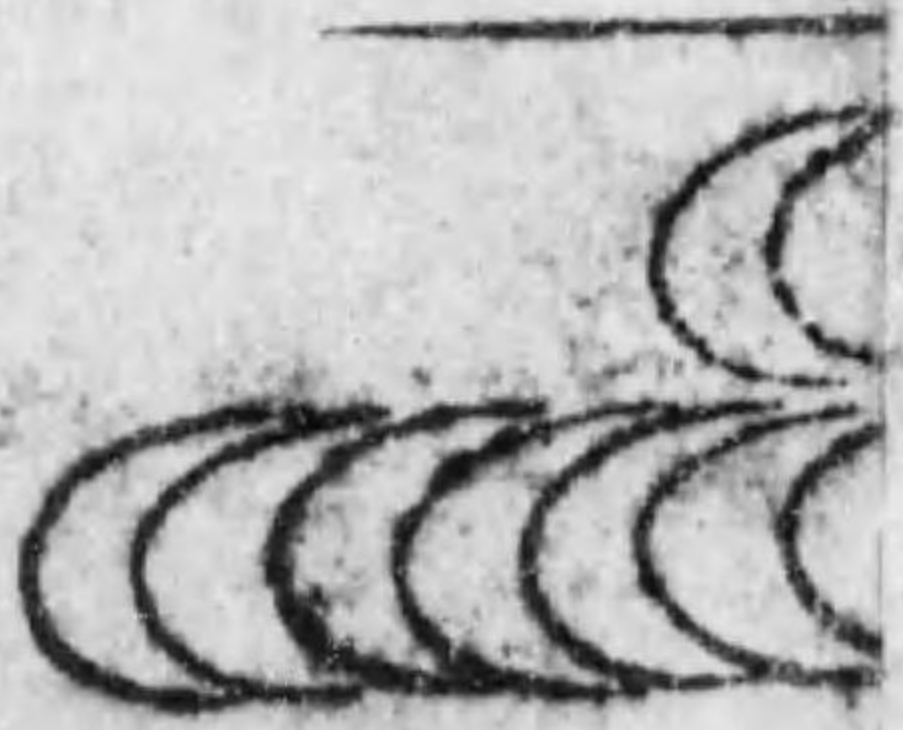
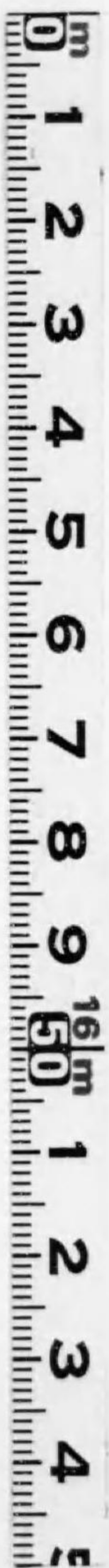
特116

539

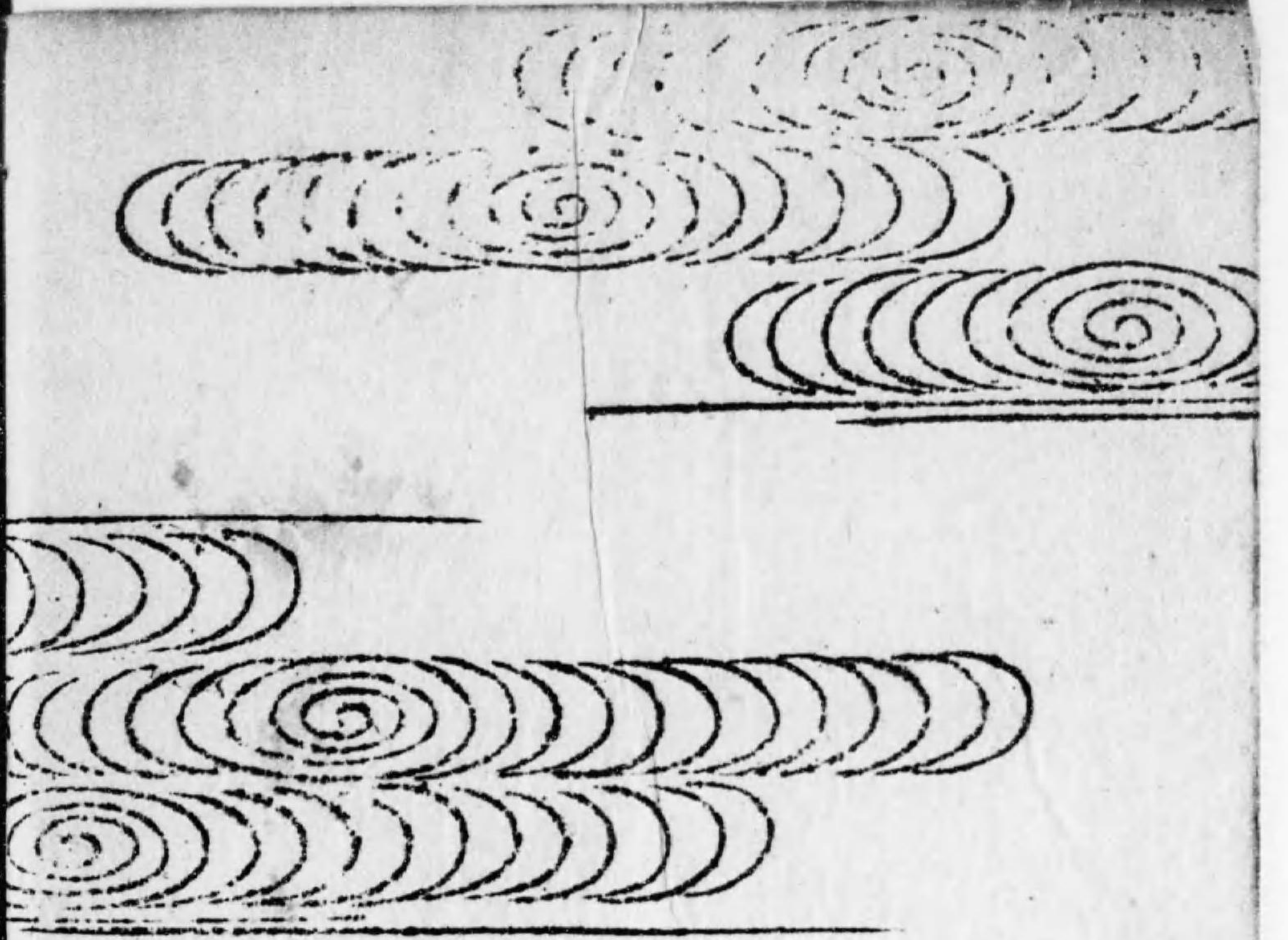
新選小謡

第一輯

始



47116
539



節付其他畧解

シテ。一篇ノ主人公タル役

ワキ。シテノ副役

ツレ。子方。シテ又ハワキニツキテ補佐スル役

ツヨク。剛吟ニテウタフコトヲ示ス

ヨワク。柔吟ニテウタフコトヲ示ス

和。ツヨ吟ノ節ヲヨワ吟ニテウタヒヨワ吟ノ節ヲ

ツヨ吟ニテウタフ

上。上音ニテウタフコトヲ示ス

中。中音ニテウタフコトヲ示ス

下。下音ニテウタフコトヲ示ス其音位ハ場所

ニヨリ異ル中音下音下下音等トナル

次第。能ニ於テ登場ノ初ニ演者ガソノ心情又

ハ感慨ヲウタフ一節ナリ

道行。猿ノサマヲウタフ所ナリサラクトウタフ

下哥。中音ニ始マル謡ノ体

上哥。上音ニ始マル謡ノ体

下同。上同。地ノ文ヲ地カタニテウタフ所

一声。シテノ一声及ニ句ハ伸マシ位大キクウタフ

ロシギ。カケ合ヒニウタフ一種ノ体

待謡。後シテノ登場ヲ待込ヘテワキノウタフ上哥

キリ。地ニテウタフ最終ノ一節ノ称

サシ。サシ声トイフ一種ノ体ニシテ拍子ニ合サズ上

音ニ始マリ一字落シニ字落シ等ノ節トナリテ

後中音ニウタヒ下音ニ終ルヲ常トス

カル。発声節付共ニサシニ同ジ二人ハカケアヒア

リテ地ニウタヒ渡スヲ常トス

下カル。カルノ中音ニ始マルモノ

クドキ。下カルニテ纏綿タル情緒ヲ速ル所

クリ。上音ニ始リクル入等ノ節付アリテ中音ニ終

ルシテ又ツレヨリウタフモノト地ニテウタフモノ

トアリ地ニテウタフモノヲクリ地トイフク久

ト等ノ節ハ大キクウタヒソノ他ハ滞リナク運ビシ

クセ。古舞ヲ傳ヘタルモノトナリサシノ後ニツク

ヲ常トスコノサシヨリクセノ終マデヲ獨吟ニ謡フ

〇句切。息ツキト称シ前句ノ終ノ音ヲ引クコトナ

クウタヒ切リ只息ヲツグ程ノマヲ置キテ次ノ句

ヲウタヒ出ス此ノマハニツ位ナリ

ヤ。前ノ句ノ終ヲ息ツキノマ夫引キ同ジ息ツキ

ノ長サ支音ヲ休メテ次ノ句ヲウタフ

ヤア。息ツキノ三倍ノ長サヲ引ク

ヤヲ。息ツキノ三倍ノ長サヲ引ク

ヤヲハ。息ツキノ四倍ノ長サヲ引ク

ウ。打切ノ畧ナリコトニテ鼓ヲ打切リ更ニ打

出ス程ノ間ナレバヤヲハノマヨリモ長ク前句ノ

終音ヲ引キ息ヲ休メテ新ニ次ノ句ヲウタフ

又サシカルクドキ等ニアリテハ句ノ終ノハ

多少音ヲ引クベシ。兼リノ中ニ於ケル鼓ノマ

一劫音ヲ引カズヤアヤヲトアルモマナシト心

得ヤタフベシ

直節トイフ特ニ上下其他ノ節ヲ示サルモノ

落チ節トイフ音ヲ落シテウタフトキ節ヲ扱

トキ小節ヲウタクトキ等ニツケル又サシカル

ノ上音中ニアリテ句ノ終ニコト節トツアル一字

落シニツアルラニ字落シニツアルラ三字落シ

トイフ

マハシトイフ音ニ段ヲツケ音尾ヲ別音ノ如ク

音ニテニ段ニウタフ(一)段ノ前ヲ充分ニ浮カシ

(ツヨクニアリテハ強ク)テ段ノ後ヲ落ス如クウ

タフ之ヲ單ニマハシトイフ(二)段ノ前ヲ浮サズ段

ノ所ヲスクフ如クカスメテ音尾ヲ前ト同ジ高

サニウタフ之ヲ中マハシトイフ

消マハシ。マハシノ音尾ヲ消スガ如クシ次ノ音

ヲ密接セシメテウタフ

振リ。音ヲ震ハセテウタフ

吞ミ。音ヲウチノ如クウタヒ其音尾ヲ鼻音

ニテウタヒ落ス

ハ不節。音尾ノ母音ヲ別音ノ如クシ稍ツヨ

ク打ツクル如クニウタフ

折マハシ。フニ色ヲツケタルモト同ジ謠方ヲナス

黒星。ヨク吟ノ上音ノ中ニヨク。等アルト

キハ其音尾ヲ中ノ浮キノ高サマデウタヒ落ス

又上音ノ句ノ始ニアルトキハソノ一音ヲ中押ヘニ

ウタフサシカルノ中音ニアリテ一句ノ終ニ

一ケ又ハ數ケアルトキハソノ數ニヨリ一字押ヘ二字

押ヘ三字押ヘトイフ又音ノ中央ニ只一ケノア

ルハ押ヘ或ハ一種ノ落シヲ表ハスモノナリ

イ色又ハイロエノ畧ナリ竹切仍ノ如ク各節ニ

イロエトイフ小サキアヤヲツケテウタフ

入。一ノ刀ヲ等ニツケテ其一音ヲ場所ニヨリ

音階又ハ二音階三音階高クウタフ入ガク

ルノ下ニアルトキハ上音ニカヘリタルコトヲ示ス

スハ單ニイリト稱シ又ハイリマハシ又ハ消イ

リマハシ又ハイリ吞ミ又ハフリイリトイフ

クル。線ルノ意ヨク吟ニテハ上音ヨリ二音階高ク

ツヨク吟ニテハ一音階高ク声ヲハリ上グルコトヲ

示ス又ツヨク吟ニ甲ケルトイフ節アリ通常ノク

ルヨリ一段高クウタフ

ハル。張ルノ意上音ニ声ヲハリ上グルコトヲ示ス又

中音ノ謠ニアルヲハ中音ノ又ニ同ジ

ヲウ。浮キノ意。音位ヨリ一段高メテウタフ

ヲ。落チ又ハ落シトイフ其一音ヲ低ク落シ

テウタフコトヲ示スヲヲノ如シヨク吟ノ上

音ニアルトキハ二様ノ意ヲ表ハス一ハヲス

クモ落トイヒ一ハ中落トイフスクモ落ハ前

ノ音ヲ上ノ浮キ高サニウタヒヨノ所ニテ上

ノ音ニウタヒ落スモノ中落ハ前ノ音ヲ上ノ

上ノ浮キノ高サニウタヒヨノ所ノ中音ニ

タモ落スモノスニ音前ノ直節ニイノ付

キ居ルトキハ必中落ニウタフ例ハハイ

ヲノ如シ

ト當リト稱スル一種ノ微細ナル節ノアヤヲウ

タフコトヲ示ス又發音自ラ當ルガ如クキ

コユル所ニモ付ケラル

二重不節トイフ直節ノ二倍ノ長サニ引ク

三三持トイフ直節ノ三倍ノ長サニ音ヲ持タ

セルコトヲ示スサレド兼地ニアルトキ又章

ノ終ノ一音前ニアルトキハ別ナリ

ハニツ持トイフ直節ノ一倍半ノ長サニ音ヲ持

タセルコトヲ示ス

引直節ノ二倍以上ノ長サニ音ヲ引クコトヲ示

ス引音ノ長サハ場所ニヨリテ一定セズ

引振リ引キトイフ

ツヨク吟ニアリテハ通常ノツヨク吟ニアリ

テハハニ同ジ

小マハシトイフツヨク小サクウタフ

大マハシトイフツヨク大キクウタフ

小吞ミトイフツヨク小ナルモノ

大吞ミトイフツヨク大ナルモノ

中下。ツヨ吟ノ中音ニアル節ニテフ。前ヲ
 中音ニ後ヲ下音ニウタヒ落ス
 中下。中落シトイフヨク吟中ニマリテ以下ノ
 数音ヲ中ノ浮キノ音位ニテウタフ
 下。ヨク吟ノ上音ニアル節ニテスクヒ落
 シトイフ一音又ハ二音前ヨリ上ノ浮キノ
 高サニウタヒ上ゲコノ節ノ所ニテ再ビ上
 ノ音位ニウタヒ下グル節
 中下。當リ落シトイフ通常ノ落シト
 異ルウタヒ方ヲナスヨク吟ニテハ崩シニ
 似タレ氏少ク別ナリ
 中下。二段落シトイフ一ヲ中ニ下ヲ中ニ
 下ヲ下ニウタヒ落ス
 中下。之モ二段落シトイフ一ヲ中ニ下ヲ
 下ノ中ニ下ヲ下ノ中ニ下ヲ下ニウタヒ落ス
 中下。拍子又ハ仮名音ノ関係ニヨリ
 寄セテウタフコトヲ示ス
 中下。句切ニ息ヲ休メズシテウタヒツクル所
 中下。等ハ一又ハ二ヲ短カク詰メテ直節ニ似
 タルヤウニウタフ

走リトイフ早ノテウタフコトヲ示ス
 ノル。太鼓地ノ拍子ニ乗リテウタフ所
 ノラス。乗リノ中ニアリテ乗ラズサル所又ハ乗
 リノ終リタル所ヲ示ス
 ツメル。其ノ語ヲ促音ニ發音スル所
 合。唇ヲ閉ヂテ鼻音ニ發音スル所
 合セル。一度拍子ニハツシテウタヒタルヲ再ビ
 拍子ニ合セテウタフ
 カハル。カヘテ。語ノ調子ノ変ル所ヲ示ス
 メル。音ヲ抑ヘ低メテ寂シクキカスル所ヲ示ス
 クツス。ヨク吟ノ中音又ハ下音ニアル一種ノウタヒ様
 心。文意ヲキカスルタメ又ハ仮名音ヲ耳タセザ
 ルタメ心シテウタフ
 スム。進。語ノ運ビノ稍早マル所
 急。語ノ運ビノ急ニナル所
 動。運ビ早マリテ少シク激ニナル所
 靜。シツメ。調子又ハ早サノ靜マル所
 シメル。調子ヲ引シメテ靜カニウタフ
 色。一句ノ作意ヲキカスルタメ心シテウタフ
 イ口。一句ノ終ニマリテ色又ハイロエトイフウタヒ方



新選小謡

高砂

第一輯

小謡

ツシレ
ツヨク

老の波もよりのや。本下下産れ後
 糸の波もよりのや。命なまらへて。程
 いづまぞかき生れ松。子ねんたも。名
 何れか

小謡 上音 ツヨク

四海浪静うそて。國も治まる時つ凡。
枝をあらさぬ代なりぬ。あひよ相
生の相もめでたかりけり。あひよ
ても。こころも愚やあらせぬ。信ある民
こそ豊ある。君の徳又かある。あひよ

同

小謡

シテ上 ツヨク

高砂は尾上の鐘。凡音まあり。月
うひて。霜の置けりも。松が枝の葉も。同
ト深緑立ち穿るる。産の朝夕ぬ。あけ
ども。夜茶の盡きせぬ。真あり。松
け葉の散りら。せむし。て色し。おね
未けり。つらあらま。せれた。なごなりける

同

幸^{トキ}般^ノ名^ノ本^ノの中^ノもも^ノ名^ノい^ノち^ノ砂^ノけ^ノ末^ノ代^ノ
け^ノた^ノめ^ノよ^ノも^ノ相^ノ生^ノの^ノ松^ノぞ^ノめ^ノで^ノた^ノま^ノ

同

上^{ツヨク}同^ノ種^ノ大^ノ君^ノの^ノ國^ノあ^ノれ^ノづ^ノも^ノぞ^ノも^ノ君^ノ
が^ノ代^ノは^ノ信^ノ吉^ノよ^ノま^ノず^ノづ^ノ行^ノま^ノて^ノあ^ノれ^ノま^ノて^ノ
侍^ノち^ノ申^ノさん^ノと^ノ文^ノ波^ノの^ノ行^ノあ^ノる^ノ海^ノ士^ノの^ノ
小^ノ舟^ノよ^ノら^ノち^ノあ^ノり^ノて^ノ遠^ノ風^ノは^ノま^ノう^ノせ^ノつ

沖^ノの^ノ方^ノよ^ノ出^ノで^ノよ^ノけ^ノり

同

待^ノ謡^ノ

上^{ツヨク}高^ノ砂^ノや^ノ津^ノ浦^ノよ^ノ帆^ノを^ノあ^ノげ^ノて^ノ月^ノも^ノろ^ノ
し^ノも^ノよ^ノ出^ノで^ノ波^ノれ^ノ波^ノれ^ノ法^ノ路^ノは^ノ島^ノ敷^ノや^ノ
遠^ノく^ノ鳴^ノ尾^ノの^ノ沖^ノ道^ノよ^ノて^ノ早^ノや^ノ信^ノの^ノ江^ノ
よ^ノら^ノち^ノあ^ノり^ノて^ノ遠^ノ風^ノは^ノま^ノう^ノせ^ノつ

同

●獨吟

ありがたけれ 教向や 月夜 喜れ 神遊び。
上地 舞 ありがたけれ 教向や 月夜 喜れ 神遊び。
 清歌を 捧む ありたきよ げよさま
 ぐの 舞 舞の 聲も 流む かり 佳
 の 江に 松影も 映る なる 青海波と
上地 舞 ぐの 舞 舞の 聲も 流む かり 佳
 られ やらん 神と 君との 道まぐも
 都の 春は 行くべく くれぞ 遠城樂
 の 舞 舞 万歳の 小冠衣 さま
上地 舞 の 舞 舞 万歳の 小冠衣 さま

●小謡

腕よ 悪魔を 拂ひ ともさむらよ
上地 腕よ 悪魔を 拂ひ ともさむらよ
 寿福を 抱き 秋樂の 民を 撫で
上地 寿福を 抱き 秋樂の 民を 撫で
 萬歳樂よ 命を 延ぶ 相生れ 松風
上地 萬歳樂よ 命を 延ぶ 相生れ 松風
 颯の 清り ぞ たの 心 悲く
上地 颯の 清り ぞ たの 心 悲く

玉井

小謡

上ツシ
ツヨク

長き 命を 汲み 知る 心の 底も 曇り
上地 長き 命を 汲み 知る 心の 底も 曇り
 おき 月夜 桂の 光 添ふ 枝を 連ね
上地 おき 月夜 桂の 光 添ふ 枝を 連ね

夜もまがら。月も前よも友待つや。又
傾く不皿の教をたてて待ち居た
り

同

酒酌めどもつききて。飲めどもあまら
ぬ秋の夜の皿教も傾く。入江よそ

たつ足もつききて。あひま
たる枕の夢のさむじると思へを泉のそ
のまらつきせぬ宿をそめてたけり

鶴 飛

庭の砂に金銀の玉を連ねて教妙の五
百重の錦や瑞璃の扉。陣礫の行柝瑪
瑙け橋池の汀の鶴飛。送送業めしよそ

小 論

おらむ。君の魂みぞありおたましく

養老

小謡

長生の家よこそ。老いせぬ門あるお
らむ。これ身あるおほくのあせれた
のしを。松蔭の石井の水を樂まて
老を延べたる心を。程行く末も
次しけれく

小謡

同

老をだよ養老ま。まして盛の人れ身
よ。薬とあらむも。いづまて。此は壽命も
盡おのどき。泉ぞめでたかりけり。
げよ。玉水の。水上げ。澄める。御代ぞ
流しの末れ。われらま。めで。豊かよ。ほめ
る。嬉しきよ

小譜

大瓶程

詩酒と聞くも隔てぬ友人のい
 つも愛らぬ酒切替具は酒を愛せし
 来り方の人の心よけまかへて
 又も盃詩を作らよも盃唯酒の交
 友をかり恥らうやさそそげは市人の
 われを笑からん

後成忠度

松の葉は散り失せや日本ヨクのうら
 ち長く伝きり鳥は跡あるん其ほど
 へよもつきせどお敷鳩の款カケの神も
 細文の男女主婦の媒ナカケも此款の
 情あるべし

難波

小謡

^{ツシ}祝^{ハナ}ふ^{ハナ}心^{ハナ}ぞ^{ハナ}志^{ハナ}ふ^{ハナ}き^{ハナ}日^{ハナ}曇^{ハナ}る^{ハナ}あ^{ハナ}き^{ハナ}天^{ハナ}の
^{ツヨク}日^{ハナ}嗣^{ハナ}の^{ハナ}は^{ハナ}御^{ハナ}物^{ハナ}運^{ハナ}ぶ^{ハナ}春^{ハナ}や^{ハナ}都^{ハナ}路^{ハナ}の^{ハナ}直^{ハナ}家^{ハナ}
^{ニト}御^{ハナ}代^{ハナ}を^{ハナ}仰^{ハナ}が^{ハナ}ん^{ハナ}と^{ハナ}関^{ハナ}の^{ハナ}名^{ハナ}さ^{ハナ}ぞ^{ハナ}て^{ハナ}子^{ハナ}里^{ハナ}
^中ま^{ハナ}ぞ^{ハナ}あ^{ハナ}ま^{ハナ}ね^{ハナ}く^{ハナ}懇^{ハナ}き^{ハナ}日^{ハナ}影^{ハナ}ら^{ハナ}さ^{ハナ}く^{ハナ}

同

小謡

^上難^{ハナ}波^{ハナ}津^{ハナ}よ^{ハナ}咲^{ハナ}ら^{ハナ}本^{ハナ}代^{ハナ}花^{ハナ}冬^{ハナ}ぞ^{ハナ}も^{ハナ}り^{ハナ}今^{ハナ}
^{ツヨク}あ^{ハナ}ま^{ハナ}へ^{ハナ}高^{ハナ}ひ^{ハナ}き^{ハナ}て^{ハナ}吹^{ハナ}け^{ハナ}ど^{ハナ}も^{ハナ}梅^{ハナ}の^{ハナ}凡^{ハナ}枝^{ハナ}

^{ニト}を^{ハナ}鳴^{ハナ}ら^{ハナ}さ^{ハナ}ぬ^{ハナ}津^{ハナ}代^{ハナ}と^{ハナ}あ^{ハナ}わ^{ハナ}け^{ハナ}は^{ハナ}津^{ハナ}の^{ハナ}國^{ハナ}
^{ニト}け^{ハナ}あ^{ハナ}ま^{ハナ}た^{ハナ}れ^{ハナ}事^{ハナ}ら^{ハナ}あ^{ハナ}ら^{ハナ}ま^{ハナ}ぞ^{ハナ}豊^{ハナ}か^{ハナ}あ^{ハナ}
^{ニト}る^{ハナ}せ^{ハナ}の^{ハナ}た^{ハナ}め^{ハナ}ら^{ハナ}し^{ハナ}げ^{ハナ}は^{ハナ}道^{ハナ}廣^{ハナ}き^{ハナ}治^{ハナ}
^{ニト}め^{ハナ}あ^{ハナ}れ^{ハナ}く^{ハナ}

同

小謡

^{ツヨク}ゆ^{ハナ}ら^{ハナ}ま^{ハナ}故^{ハナ}よ^{ハナ}わ^{ハナ}あ^{ハナ}の^{ハナ}く^{ハナ}い^{ハナ}あ^{ハナ}ま^{ハナ}ら^{ハナ}ま^{ハナ}を^{ハナ}
^{ニト}ふ^{ハナ}津^{ハナ}宮^{ハナ}に^{ハナ}あ^{ハナ}ら^{ハナ}る^{ハナ}秋^{ハナ}萬^{ハナ}歳^{ハナ}の^{ハナ}子^{ハナ}箱^{ハナ}

の玉をなま

小謡

難波の梅の名もたよむ。角ひも四方
又普く花開くれば天下皆喜ぶ
れや萬代の程安んずめでたき

老松

小謡

松が根は岩間を伝ふ。苔蘚敷鳩

の道まごもげよ。東あつや。みぬの
天むら雲は右枝をも。程安んず
る花風を折りや。中ると守る梅の
花垣いざや。かえん梅は花垣を
かえん

西王母

小謡

さちのなま。あつや。お梅のこら。より。

花咲くまよふあふらも唯ら若の
よもい思ふあつき國玉の千ぐれ種桃
花の色しぞぬる

鞍馬矢物

花咲く告げんとり山里使の
弟たり馬は鞍鞍馬の山れぐれ橋を
折器を志るべそ興も迷さぬ

小謡

木陰よそ又舟をいさぐ花
をなごめん

烏帽子折

かやうな程あく烏帽子折り
たす花やかよ色知の烏帽子懸
結取り出たし氣高く結ひ清まり
されては後いへそお髪のおよ

小謡

ち置き。立ち返きて見入だ。天晴は
器量や。それぞら矢村大将と申す
こと不^レ成^レよ。あらう

らハ情

小謡
上^レ月
葉のら。もや逢^レけハ情ハ。拓^レま^レ海も
ゆたまで。君ハ船^ハ臣^ハ瑞穂^ハの國^ハも
残^レあ^レな^レびく。草木^ハの^ハ惠^ハも^ハる^ハしも

ありな。あ^レ神^ハ流^ハぞ^レめ^レて^レなき^ハ神^ハ流^ハ
ぞ^レめ^レて^レた^レけ^レら

羅生門

小謡
月^ハも^ハあ^レひ^ハ情^ハら^ハよ^ハ人^ハよ^ハ神^ハ酒^ハを^ハま^レめ^レ
て^レ益^ハを^ハも^レり^ハぐ^ハあ^レれ^ハ持^レら^ハ。や^レた^レけ^レ心^ハの^ハ
一つ^ハな^レる^ハつ^ハま^レも^レけ^レ交^レを^レり^ハ。頼^ハみ^ハあ^レる^ハ
中^ハの^ハ酒^ハ宴^ハら^ハあ^レる

竹生嶋

^{下月}名^{ヨク}ふそき^カあ^カみや^カ志^カ賀^カの^カ浦^カは^カ立^カ
 ち^カあ^カる^カ都^カ令^カ痛^カを^カわ^カお^カ每^カは^カ居^カさ^カ
 れ^カて^カ浦^カを^カ眺^カめ^カ給^カへ^カわ^カ

淡路

^上時^カ種^カを^カ蒔^カき^カ種^カを^カ収^カめ^カて^カ苗^カ代^カの^カ水^カう^カ
 ら^カよ^カて^カ喜^カ雨^カは^カ天^カよ^カり^カ降^カは^カる^カた^カね^カ

小謡

蒔^カきて^カ國^カぶ^カも^カゆ^カた^カる^カよ^カ子^カ屋^カ茶^カあ^カる^カ
 富^カ草^カは^カ村^カ子^カ稲^カの^カ秋^カあ^カる^カな^カら^カず^カ
 種^カを^カ収^カめ^カん^カ神^カ徳^カあ^カら^カあ^カら^カが^カた^カの^カ誓^カ言^カ
 ひ^カや^カあ^カあ^カら^カが^カた^カは^カ神^カの^カ誓^カ言^カひ^カや^カあ^カ

三井寺

^上時^カ月^カふ^カ風^カぞ^カ時^カ雨^カは^カ鳴^カの^カ海^カ浪^カも^カ葉^カ津^カ
 の^カ森^カ見^カえ^カて^カ海^カ越^カし^カの^カか^カき^カら^カよ^カ向^カふ^カ

小謡

新選小謡

十三

歌あれど月さまも又鏡山山田夫橋
の海舟のよるの通よ人あくるも月の誘
をたのづらもあれて出づらん
づもあれ出づらん

羽衣

小謡
上
か陵頻依の馴れく。聲今更よ
僅ある雁のゆり行く。天路を聞けぞあ

つらや馬鴉に沖つ浪ゆくり春
凡の空は吹くまごあつやく

同

上
東遊の敷ま。其名も月の空
ぐはと五夜中け。室よ又満月真如
の敷とあり。御願系満玉出成就
七寶充滿の寶を降ら。國およこ

けを。施し。給ふ。さる。程。よ。時。移。つ。て。夫
 の。羽。衣。南。風。よ。た。あ。び。き。た。な。び。く。こ
 保。れ。松。東。浮。嶋。の。雲。の。足。高。め。や。富
 士。の。高。嶺。の。ま。り。ま。り。あ。り。て。夫。つ。清。堂
 け。霞。よ。ま。の。ま。り。ま。り。あ。り。て。夫。つ。清。堂
 け。霞。よ。ま。の。ま。り。ま。り。あ。り。て。夫。つ。清。堂

櫻門

常。より。も。春。へ。あ。い。だ。梅。門。波。の。花

花。の。雪。も。貫。之。も。古。き。名。の。み。残。る。世。風
 梅。門。瀬。の。白。浪。花。け。れ。ど。霞。を。遠。く。信
 大。け。浮。島。け。浮。か。め。浮。か。め。水。の。花。げ。は
 面。白。き。河。瀬。の。あ。く

賀茂

汲。む。や。心。も。い。さ。ぎ。い。よ。き。鴨。の。河。瀬。の

獨吟

風臨しききけり波の柳水もま
 りたが柳の風もまきくさる雀
 の竹もまきくさる都牛の車もま
 り茶臼の石もまきくさる
 志れたるよきるるを放下も
 まるるまきくさる竹の安もま
 さぬて打ち活まりたる御代も

大正四年二月一日 印刷
 大正四年二月五日 發售

(定價金貳拾錢)

山形縣北村山郡東根町大字東根甲六二六番地

編輯兼發行者 柴田直吉

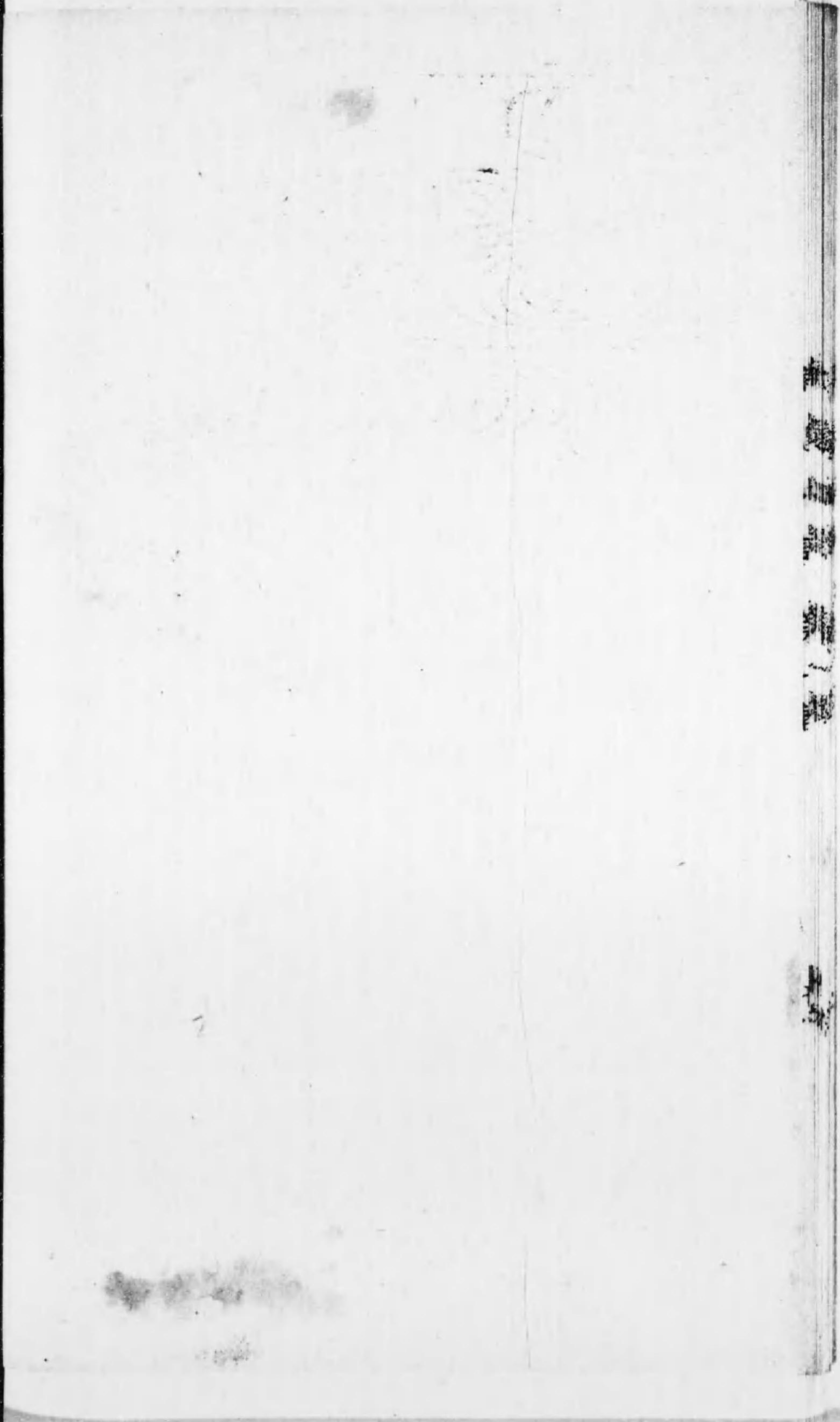
全所全番地 印刷者 柴田直吉

山形縣山形市上町三九一番地

彫刻者 加藤新六

山形縣北村山郡東根町大字東根甲六二六番地

發行所 東根謠友會



終

